



市民の手で市民活動を支える

特定非営利活動法人

宝塚NPOセンター

通信
No.71
2012.6

このニュースの発送は、ボランティアのみなさんにご協力いただいています

「新体制の構築に向けた取り組み」

(特活) 宝塚 NPO センター
副理事長 江守 典子
(宝塚市社会教育委員の会議議長)



平成 24 年度通常総会を 5 月 20 日に宝塚市立男女共同参画センターで開催しました。

設立 14 年目を迎えたセンターに温かいご支援と励ましをいただき感謝しております。今年度、会員の皆さまへの事業報告は、若いスタッフが BGM 入りの映像を作成し報告、収支決算の承認もしていただきました。総会後には、牧里理事長の講演会と懇親会を開催し交流の場となりました。

昨年 2 月に逝去しました設立者森綾子前事務局長の遺志を継ぎ、平成 23 年度は牧里理事長のもとでセンターは、ガバナンス(船の舵取り)を意識した「新体制の構築に向けた取り組み」の一年でした。宝塚 NPO センターのミッション(使命)が、市民

力の養成にあること、コミュニティ・ビジネスなどの市民事業力の養成にあることを理事と事務局スタッフが意識の共有化を図り、実現に向けての方策を多面的に協議しました。一年毎の事業は短期的にならざるをえない、だからこそミッションが中長期の目標に繋がっているのか目的を見失っていないのかを考える必要があります。

今、NPO の取り組むべき領域は広がっています。NPO 法人が公益的な事業を担う時代となりました。「新しい公共」といわれるように行政や企業が出来ない部分を NPO が、公益サービス機関として事業を行うこととなります。宝塚 NPO センターは中間支援組織としての支援力が必要とされています。世代交代した事務局スタッフと理事の研修会、交流会は回を重ねる度に相互信頼を図る機会となっています。

新体制の実現に向けた方策：

- ・理事会 (年 8 回開催、事業と予算の進捗状況、就労規則の見直し、賃金規定の基本の検討、東日本大震災被災者支援活動など)
- ・小委員会(理事会の課題を協議し素案を理事会で審議)
- ・三役会(財源、労務、雇用、人材のバランス検討)
- ・外部委員会(外部委員の意見を聞き中長期計画が共有できる目標づくり)
- ・学習会、研修会(NPO 法改正、認定 NPO 制度、理事会、中間支援組織)
- ・アンケート調査(対象者会員、センターへの意見を運営やボランティア活動に活かす)
- ・合宿研修会(正副理事長とスタッフ全員参加、ワークショップを実施、長時間議論して平成 24 年度の事業計画案を策定、事業の方向性、収益自主事業の考察)

監事の重要な役割：

決算監査以外に状況把握のため理事会や交流会に出席され「センターの文鎮ですね」と重責を笑顔で対応、事業の採算問題対策の指導助言を受けています。

来年は宝塚 NPO センター設立 15 周年目になります。

多くの NPO 活動を支援する中間支援センターとして新体制を活かした確かな一歩の年になりますよう皆さまのご支援をお願い致します。

2012年通常総会 報告

- 日時 2012年5月20日(日) 13:30~15:00
- 会場 宝塚市男女共同参画センター・エル
- 参加人数 正会員 86名(うち委任状 60名)にて提案された議案・報告はすべて承認可決されました。

2011年度事業会計活動報告書

I. 経常収入の部	金額(円)
会費収入	1,340,000
寄付金収入	1,386,955
助成金・補助金収入	13,600,000
事業収入	1,218,800
委託収入	33,298,250
その他収入	96,351
経常収入合計	50,940,356
II. 経常支出の部	
労務費	29,648,713
事業費	18,543,448
事業費合計	48,192,161
管理費	1,627,479
経常支出合計	49,805,350
当期正味財産増減額	779,468
前期繰越正味財産額	14,642,932
当期正味財産合計	15,422,400

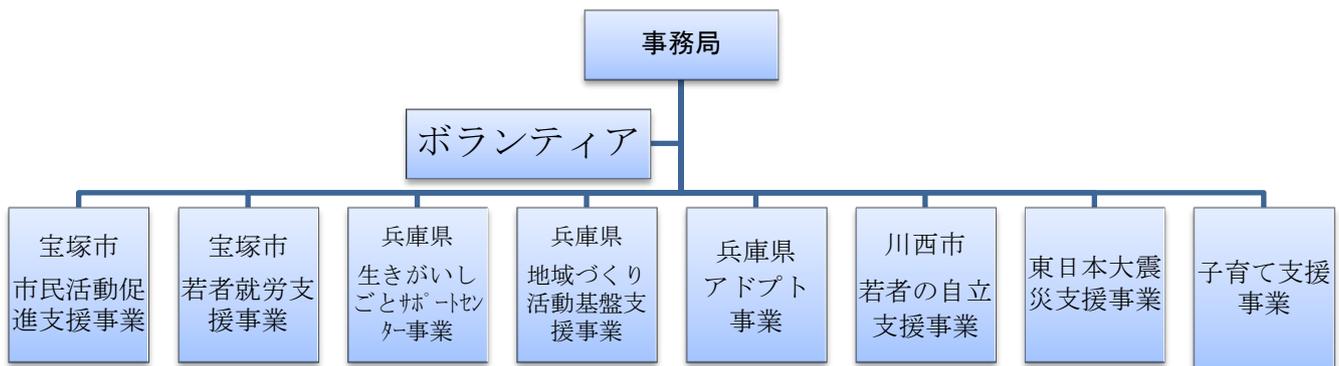
2012年度事業会計活動予算書

I. 経常収入の部	金額(円)
会費収入	1,500,000
寄付金収入	1,500,000
助成金・補助金収入	14,270,000
事業収入	671,000
委託収入	17,081,505
その他収入	100,000
経常収入合計	35,122,505
II. 経常支出の部	
労務費	19,456,800
事業費	13,115,005
事業費合計	32,571,805
管理費	1,713,200
経常支出合計	34,285,005
当期正味財産増減額	837,500
前期繰越正味財産額	15,422,400
当期正味財産合計	16,259,900

2012年度役員体制

理事長	牧里 每治
副理事長	江守 典子
副理事長	遠座 俊明
理事	名取 千里
理事	鶴丸 悌二
理事	野尻 俊明
理事	清瀬 勲
理事	西岡 輝子
理事	高松 泰子
理事	中山 光子
理事	橘田 てつ子
監事	福岡 則博
監事	森田 義

2012年度 宝塚NPOセンター 体制・事業



宝塚NPOセンターを支えて下さる皆様に、2011年度1年間の報告とこれからのセンターの目指す方向をご報告できましたこと、感謝いたします。昨年度は持続可能な新しい組織になるために、組織の土台となる部分の改革に力を入れてまいりました。

2012年度、2年目を迎えた『地域づくり活動基盤整備事業』は昨年の3事業に加え「但馬に中間支援組織を作る」ために新しい事業提案をし、計4事

業を採択いただきました。『子育て支援事業』は昨年度の参加者のグループ化とその活動支援が評価され、今年度も兵庫県より採択いただき、より深い活動への取り組みをスタートします。川西市から受託した『若者の自立支援事業』は20代の若いスタッフと一緒に、現在(いま)を生きる若者を支える事業展開をしていきたいと考えています。

全ての事業を宝塚NPOセンターらしく前進するための組織体制が整いました。ラグビーで例えると、スクラムからボールが出てラインに渡り、パスをしながらゴールを目指す2012年度になる予感がいたします。宝塚NPOセンターのパスは、遠くに渡るのが特徴です。センター内だけでなく、多くの市民を巻き込んで進んでいく1年でありたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

事務局長 中山 光子



牧里理事長 総会講演より

(関西学院大学 人間福祉学部 学部長)

「無縁社会から知縁社会へ」

NHKによる無縁社会の報道は、私たちの想像を超えて、人と人を結びつける関係喪失の傷が広く深く進んでいることを思い知らせた。今の日本は、都市と農村を問わず気を緩めると、いとも簡単に生活困窮と孤立・孤独の奈落の世界に転落させてしまう底の抜けたもろい社会になってしまっている。このような暮らしのセーフティネットが破壊されている問題の原因はなにか、歪んだ社会を生み出した犯人は誰か。

人間は人とつながってなければ生きていけない動物である。だれも好きこのんで孤立無援な生活状態になったわけではなく、気がついたら結果として一人取り残されてしまうことがある。

他人のことをかまう、おせっかいをやく時間と気持ちの余裕がなくなってしまったのだ。とりわけ隣人を住民として受け入れ認める寛容さと包容力が弱くなってきた。地縁が弱くなってきたのは、地域社会を支える職業や世帯など基本構造が変質してきたからである。その結果、縁を結ぶ力の弱い人びとは取り残されていく。

知縁社会とは地縁社会をもじった造語である。生まれるまえから出来あがっている地域社会ではなくて、知り合ったことをご縁につながり合う福祉社会を意味している。「無縁社会から知縁社会へ」というテーマは、なんとか地域社会を仕事と暮らしが結びついていた職住接近の地域社会を再生したいという願いでもある。既存の地縁に依存した地域社会の基盤だけでは、そのネットからこぼれ落ち、すり抜ける人びとをつなぎ止められなくなっている。意図的、選択的に繋がりを創り出していく新しい人間関係、つまり知り合ったことを大切に結びあう、「知縁・結縁」の関係づくりこそ新しい時代を切り開く地域社会づくりなのである。

- お勧め書籍のご案内 - 「休みのとれる NPO の働き方」(神戸新聞総合出版センター)



名取 千里・時岡 禎一郎

山本 麗子・川中 大輔 共著

当センターの名取理事を始め、いずれもセンターと関わりの深い方々が共著での出版です。実務観点からの注意、指導点の数々はお読みになる市民活動やNPOに携わる方のお役に立ちます。「疲れきってしまわない…前」にお勧めの図書です。ジュンク堂書店・アマゾン・楽天ブックス他主要書店で販売中！宝塚NPOセンターでも販売受付中です。

宝塚NPOセンター報告情報より

相談情報

(4月1日～5月31日まで)

・面接者数	356名
・電話FAX相談件数	502名
・メール相談件数	168名
・相談者数合計	1026名

求人求職者・起業団体情報

(4月1日～5月31日まで)

・新規求人数	87名
・新規求職者数	75名
・就職成立者数	58名
・起業・拡充団体数	8団体

保護者のためのキャリアセミナー

保護者や家族として若者の「働く」と「自立」を応援するために何が出来るでしょうか？

全国各地で若者の自立や就職にたくさんかかわってきた講師、井村良英さんと一緒に子供の進学・就職・自立を見据えて今できること・今から出来ることを考えてみませんか？

セミナー最後には事前に受け付けた相談内容について井村さんよりアドバイスを頂ける「公開お悩み相談」もあります。

- 日時 7月29日(日) 14:00~16:00
- 会場 宝塚市男女共同参画センターエル (宝塚駅前 ソリオ11 4階)
- 参加費 無料 (定員80名)
- 講師 井村 良英 さん (たちかわ若者サポートステーション 所長)
- 参加〆切 「公開お悩み相談」内容受付締切は7月19日(木)まで
セミナーへは定員に達するまで当日参加を受け付けます。

☆お申込み方法は・・・宝塚NPOセンターまでメール！FAX！もしくはお電話で！

第8回 ソリオ宝塚ふれあい夏まつり



開催お知らせ

開催日：8月24日(金)
17:00~21:00

(雨天決行)

場所：阪急宝塚駅前 交通広場
内容：盆踊り・夜店(当日、朝市もあります)
詳しくは宝塚NPOセンターまで
(TEL:0797-85-7766)

— 広告 —

丸大食品

心に残る贈り物

丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。
お中元・お歳暮には、多くの会員の皆様にご好評を頂き、誠にありがとうございます。当社では中元・歳暮用以外にも快気祝等のご進物用としてのご利用も承っております。今後とも宜しくご用命賜ります様、お願い申し上げます。



王覇(HA-502)

丸大食品株式会社 関西特販営業課
〒557-0063
大阪市西成区南津守2-1-10
TEL06(4398)3038 FAX06(4398)3063

会員募集・継続のお願い

皆様の会費や寄付は活動資金として、ボランティアとして提供される知識や技術は活動の活力となっています。どうぞ一緒に会員としてNPO・NGOを支える活動にご参加くださいますようお願い申し上げます。

[正会員]個人会員 10,000円/団体会員(NPO・市民活動団体) 10,000円/法人会員30,000円/[準会員] 3,000円

銀行振込：三菱東京UFJ銀行 阪急宝塚出張所 普通預金3629422口座名義 特・宝塚NPOセンター

郵便振替：口座番号 00930-8-77117 口座名義 宝塚NPOセンター 郵便振替用紙をご利用下さい

ご支援ありがとうございます (順不同、敬称略 期間：2012.6.20まで)

新たに入会された皆さん

【正会員】田淵由佳利、小林浩昭【団体会員】よつば法律事務所、CareerBAL合同会社、(特活)新生コーチ・加瀬一之 起業支援協会心結KIZUNA【賛助会員】(特活)ポポの家、(特活)アミーゴ、山本進、永井弘之、若年認知症支援連絡会 ひよこの会

寄付をいただいた皆さん 山口一史、西岡輝子、伊藤章夫、鶴丸悌二、(特活)ハートライフ福祉協会、ババエ楽農会、ろうきんNPO寄付システムご利用の皆様、匿名希望1名

特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター

先日中山桜台小学校の環境学習準備として里山整備をお手伝いしてきました。住宅街から少し入るだけで気温が下がり爽やか。この夏健康増進と節電を兼ねて地域の里山に出かけ、お弁当を頂くというのは身近に出来るエネルギー対策なのかもしれませんね(KY)

〒665-0845
宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F
Tel 0797-85-7766
Fax 専用 0797-85-7799
利用時間 9:00~18:00
休館日 日・祝日・年末年始
Email zukanpo@hnpo.net
URL http://hnpo.net

生きがいしごとサポートセンター阪神北

Tel 0797-87-4350
Fax 専用 0797-87-7799
Email cdc@hnpo.net
URL http://cdc.hnpo.net